

「夏のトンボ観察会」(令和元年7月28日開催)

本日は「おけがや自然塾」の行事と兼ねて開催したため、自然塾の子どもたちとその保護者も加わり、一般参加者と合わせて73人の参加がありました。

1 細田所長から事前説明

トンボは種によって羽化の時期や成虫の寿命に違いがあるため、トンボを見られる時期が種によって異なります。卵の形や大きさ、ヤゴの形や大きさも種によって異なり、またシオカラトンボなどオスとメスで色や模様がまったく異なる種もあります。

パワーポイントの写真を見ながらショウジョウトンボ、チョウトンボ、キイトンボなど今頃の時期に桶ヶ谷沼で見られるトンボの説明がありました。

また、本日の野外観察に当たり、モノサシトンボの節間の長さを測ること、自分の夏色トンボを見つけることを宿題としました。

2 野外観察

沼の南側の観察路から観察を始め、トンボを見つけた時にはその都度種名やその生態などについて細田所長から説明がありました。観察路や木道ではショウジョウトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボなどが見られ、観察路沿いの茂みの中にも腰を低くしてよく見るとモノサシトンボやキイトンボなどの細くて小さなトンボが見られました。

3 甕塚(こしきづか)での観察

甕塚(こしきづか)ではチョウトンボ、ショウジョウトンボなどが多数飛び交い、コンテナの中では、キイトンボ、ベニイトンボなどの交尾や連結して飛んでいる様子など多種のトンボが見られました。

4 まとめ

ビジターセンターへ戻り、子どもたちは本日観察できたトンボを事前に用意したトンボ写真シールの中から見つけ出して、観察手帳の台紙へ貼り付けました。本日の観察会では下記の17種のトンボが確認されました。

また、事前説明で宿題となったモノサシトンボの節間の長さについて質問すると、様々な答えが出されましたが、0.6cmが正解となりました。

また、自分の夏色トンボについての質問にもたくさんの意見が出ましたが、一番多かったのはキイトンボでした。

本日確認された17種のトンボ

ギンヤンマ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、モノサシトンボ、チョウトンボ、コフキトンボ、クロイトトンボ、ショウジョウトンボ、キイトンボ、アジイトトンボ、マユタテアカネ、ベニイトトンボ、アオモンイトトンボ、サラサヤンマ、アオイトトンボ

1 事前説明



2 野外観察



3 飯塚（こしきづか）での観察



4 まとめ

